

国語科学習活動案

日 時 2005年9月8日 第2教時

児 童 2年2組 男子12名 女子11名 計23名

指導者 木村 理恵

研究主題：『学び』の花を育てよう、咲かせよう！

～自分の思いを持ち、豊かに表現できる子どもの育成を目指して～

1. 学習材名 『きつねのおきゃくさま』（物 語）

2. これまでの学習活動

(1) 児童の実態

国語科の学習は、2年生スタート時に比べ積極的に学習できるようになり、いずれの領域においても学習に対する関心が高まりつつある。

2年生のスタート時には、漢字や音読については1年生終了段階の力をつけている児童が約半数ほど見られたが、その他の領域については全体的に未定着な面が多かった。又、授業に向かう姿勢や態度も身についておらず、学習に対する意識や学習経験も少なかったため国語科のあらゆる観点から、楽しく学習し力をつけていけるよう心掛けて取り組んできた。

学習訓練として行った話を聞くという基本姿勢は、まだ完全ではないが概ね定着しつつある。話すことについては意欲に差があり、進んで話せる児童は半分である。書くことは継続的に学習している中で徐々に意識が変わり、書くことを楽しめる児童が出てきたところである。音読は、全体的に意欲的に取り組み、徐々に力をつけてきている。そのため、読み取りも以前よりスムーズにできる児童が増えた。漢字への意識は高まり、習得漢字に若干の差はあるものの、ほぼ全員が進んで学習に取り組むようになった。しかし、言語表記はまだ未定着である。

1学期までの学習の中で、文字への抵抗がなくなってきたこと、学習意欲が高まりつつあることが大きな成果である。一方あらゆる教科の基盤となる国語科の基礎を身につけ、学習の引き出しを増やしていくため、継続的かつ更に意欲の喚起を促す取り組みが今後も必要となってくる。

(2) これまでの具体的な学習活動

《基礎・基本の力の向上》（学習の基盤づくり）

国語科における基礎・基本の力はあらゆる学習の基盤となる。又、【読む】【書く】【話す・聞く】【言語】の基礎・基本の力の向上は相互的に作用し、子ども達の言語感覚を高めると考える。そこで、授業・国語力の基盤づくりや文字・声を出すことへの抵抗感をなくしていけるよう日常的な継続学習を行っている。

《話す・聞く》	学習ルールの継続的な取り組み・声かけ	《書	く》	・日記による継続学習
《読	む》	・音読の繰り返し練習（様々な読み練習）		・視写
	・詩の群読（毎日）	《言	語》	・漢字反復学習
	・教師による読み聞かせ			（小テスト・まとめテスト）
	・音読前の発声練習			

3. 本学習活動で培う基礎基本

(1) 学習材を通してつきたい力

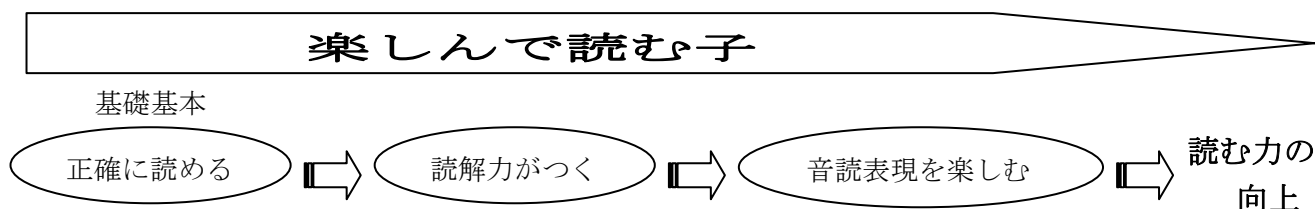
低学年の学習においてもっとも重要なことは、学習を楽しむことである。楽しく学ぶ時間の中では意欲の継続と多くの学びがあり、一人一人の伸びがある。

そのために大切なことは「わかる」ということであり、魅力的な学習材との出会いであると考えている。本学習材は動物だけが登場するにも関わらず、登場人物の会話や情景を通して、子ども達の心に様々な思いを抱かせていく。そんな魅力的な学習材を通して、音読という誰もがすぐ取り組める学習方法で『基礎的な読みの力の定着』を目指し、“読める”という実感を持たせたい。又、『会話文を生かした表現の面白さ』を味わい、子ども達一人一人が、自分自身の読み取りを生かしながら表現の工夫をしていけるような、新たな『学び』を目指していきたい。

(2) 学習活動で培う基礎基本

【読む】

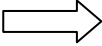
音読を中心にした学習活動を展開することで



といった学習効果が期待できる。その中で、本学習材では

- ☆本学習活動で確実につきたい力・・・正確に読める（基礎基本の定着）
 - ・スラスラと読む
 - ・句読点に気をつけて読む
 - ・声の大きさに気をつけて読む
- ★本学習活動で目指す目標・・・読み取りから表現への踏み込み
 - ・登場人物の様子や気持ちを考えながら工夫して会話文や地の文を読む
 - ・読みをペープサートで生かし表現する

4. 学習活動計画（12時間）

学 習 活 動	
1	話を知る （学習材への関心を高める） ・ 教師による紙しばい風読み聞かせ ・ 感想交流（意欲喚起） ・ ペープサート発表会の提示
2	読みをつかむ （正しく読めるようにする） ・ 語句理解 ・ 追い読み ・ かぶせ読み ・ 一斉読み ・ 個人読み（ゆっくり読み）
3 4	読みに慣れる （すらすら読めるようにする） ・ 段落分け ・ 個人読み（起立読み・早読み） ・ 一文交代読み
5 6 本時 7 8	読みを楽しむ （場面ごとの登場人物の気持ちの移り変わりを会話文の音読を通して捉え、更に音読を高める） ・ 会話文を知る（相手に話しかける会話文/ひとり言の会話文） ＊ 場面ごとに読む（1～4段落） <一斉読み→個人読み→話し合い→役割読み> ・ きつねの行動（台詞を思い浮かべて）に着目して読みの工夫を考える ・ グループでの役割読み（それぞれの登場人物の会話、地の文）
9 10 11	読みを高める （ペープサートによるグループ読みの完成） ・ グループごとの読みの完成（ペープサート発表練習） ・ ペープサート発表会 ・ 他グループの読みの良さの交流（価値づけ）
12	読みのまとめ ・ きつねへの手紙 ＊ 自分の音読の伸びにも目を向ける <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;">  </div> 発展) ブックトーク

5. 学習活動の展開

- (1) 本時の目標 ○登場人物の様子や気持ちの変化を考えながら工夫して読むことができる
○句読点や声の大きさに気をつけてすらすらと読むことができる

(2) 本時の展開

学 習 活 動	支 援
<div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h3>2の場面を上手に読もう</h3> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一斉読み（場面の確認をする） ・ グループ一斉読み ・ ペア一斉読み ・ 個人読み（起立読み） <div style="margin-left: 200px;">} 読みに慣れる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>きつねはどんなふうに「親切なきつね」と5かいもつぶやいたのだろう？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>2回もほめられたからびっくりして最初は少し大きな声で言ったんじゃないかな</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>悪いきつねだと思われていないからうれしくてだんだん大きな声になっていったと思うよ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>うっとりしたんだからぶつぶつ言ったんじゃない？</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 25%;"> <p>自分に聞いているみたいに読んでみよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 25%;"> <p>すこしずつ大きくなるように読んでみよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 25%;"> <p>だんだん小さくなって最後の方は聞こえないくらいにして読もう</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>友だちの読み方を聞いてみよう</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>友だちの読み方の方がいいぞ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>他のところも気持ちを考えて読もう</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ役割読み ・ *読み方の工夫は自由に書き込む <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>他のグループの読み方も聞いてみよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ役割読みをさらに高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の学習場面を理解させる。 ・ 自分一人で読むまでの段階をふむ中で読みに慣れさせる。 ・ 親切なきつねの読みの変化をプリントに書き込ませる。 ・ 例示を掲示し、自分の考えが持てずにいる児童には助言する。 ・ 自分なりの考えや表現の工夫を認め、できるだけ多くの児童が発言できるようにする。 ・ 考えの根拠が伝わるよう、支援する。(反対の考えも聞ける場となるように) ・ 一つの台詞（実際には書かれていないが）でも登場人物の思いが表れていることに気づかせる。 ・ いくつかのグループの読みの良さに気づかせる。 ・ 本授業のまとめの読み

- (3) 評 価 ○登場人物の様子や気持ちの変化を考えながら工夫して読むことができたか
○句読点や声の大きさに気をつけてすらすらと読むことができたか